



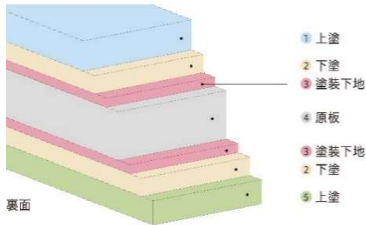
日鉄鋼板株式会社

NIPPON STEEL COATED SHEET CORPORATION

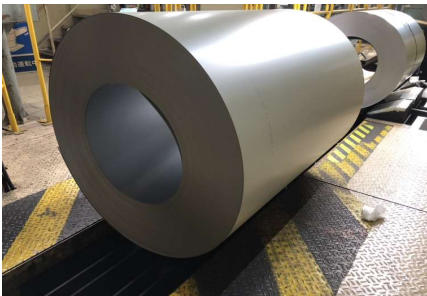
塗装鋼板

(COATED STEEL SHEET)

表面



裏面



算定単位

1 t

算定対象段階

最終財 中間財製造段階（原材料調達、原材料の輸送、製品の製造）
及び間接影響

製品の型式、主要仕様・諸元

製造サイト：東日本製造所〔船橋地区〕、東日本製造所
〔市川地区〕、西日本製造所〔尼崎地区〕、パネル建材製
造所〔堺地区〕、九州製造所主な規格：JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯
JIS G3322 塗装55%アルミニウム-亜鉛合金
めっき鋼板及び鋼帯

形状：コイル

主な板厚（単位mm、t=板厚）：0.16～1.6

登録番号	JR-AX-22006E-A
適用PCR番号	PA-180000-AX-05
PCR名	建設用鉄鋼二次加工製品（中間財）
公開日	2023年1月16日
検証合格日	2022年12月23日
検証方式	個別検証方式
検証番号	JV-AX-24010
検証有効期間	2027年12月22日

PCRレビューの実施

認定日等	2023年5月10日
委員長	松野 泰也 (千葉大学)

第三者検証者*

外部検証員 奥山 哲也

ISO14025およびISO21930に従った本宣言及びデータの
独立した検証内部 外部*システム認証を受けた事業者内の検証の場合は、システム認証を行っ
た審査員の名前を記載。

問い合わせ先

日鉄鋼板株式会社 営業総括部

TEL：03-6848-3700

<https://www.niscs.nipponsteel.com>

① ライフサイクル影響評価結果

影響領域	生産+間接影響※1	生産のみ※2	単位
気候変動 IPCC 2013 GWP 100a	1800	3000	kg-CO ₂ eq
酸性化	0.36	2.2	kg-SO ₂ eq
富栄養化	0.014	0.036	kg-PO ₄ ³⁻ eq

※1：A1～A3およびDの合計 ※2：A1～A3の合計

内訳	項目	単位	合計	[A1] 原材料調達	[A2] 原材料の輸送	[A3] 製品の製造	[D] 間接影響
気候変動 IPCC 2013 GWP 100a	kg-CO ₂ eq	3.0E+03	2.6E+03	1.1E+01	3.8E+02	-1.2E+03	
オゾン層破壊	kg-CFC-11eq	2.0E-04	1.2E-04	7.3E-11	7.8E-05	-2.2E-07	
酸性化	kg-SO ₂ eq	2.2E+00	1.7E+00	1.5E-01	3.5E-01	-1.9E+00	
光化学オキシダント	kg-C ₂ H ₄ eq	5.4E-02	1.9E-02	3.0E-03	3.2E-02	-2.6E-01	
富栄養化	kg-PO ₄ ³⁻ eq	3.6E-02	3.3E-02	6.5E-14	3.4E-03	-2.2E-02	

② ライフサイクルインベントリ分析関連情報

項目	単位
非再生可能資源	7.7E+02 kg
非再生可能エネルギー	3.6E+04 MJ
再生可能資源	1.1E+03 kg
再生可能エネルギー	2.2E+02 MJ
淡水の消費	6.1E+00 m ³

③ 材料及び物質に関する構成成分

材料・物質 (使用部分)	単位
Fe	≥95.0 %
C	≤1.10 %
Si	≤3.00 %
Mn	≤3.00 %
P	≤0.050 %
S	≤0.050 %
Zn	≤3.00 %
Al	≤3.00 %

④ 廃棄物関連情報

項目	単位
有害廃棄物	0.0E+00 kg
無害廃棄物	3.2E+00 kg

※ライフサイクルにおける廃棄物量を示しています。

⑤算定結果に関する追加情報

- 1)原料として、エコリーフとして公開され原単位登録されている日本製鉄の冷延鋼板（フルハード）（JR-AW-22006E-A）を使用し、JR-AW-22006E-Aの原単位登録データを使用している。
- 2)間接影響として、二次加工品のため鋼スクラップは使用しないので原料の冷延鋼板（フルハード）の間接影響効果のみを評価した。
JIS Q 20915に基づく鉄鋼材料のリサイクル効果を評価し、本宣言上①ライフサイクル影響評価結果 内訳表上の【D】間接影響列にその値を記載した。間接影響分は上記の表【A1】～【A3】の合計値に加算される。
計算に使用したリサイクル率は93.0%（計算はJISQ20915に従い、2018年度の国内データ（出典：日本鉄鋼連盟、鉄源協会、スチール缶リサイクル協会）を使用）
- 3)輸送に関しては、日本製鉄一日鉄鋼板間の海上輸送と陸送の距離をGoogleMap等の地図ソフトで計測して用いた。
- 4)本シート上、③材料及び物質に関する構成成分について、鉄以外は、対象となる鋼材規格の各上限値のうち最大のものを示す。但し、各製品において構成成分における鉄の含有量が95%以下になることはなく、他構成成分の比率が調整される。
- 5)一次データは、2021年度の実績値を使用した。電力原単位は「電力、一般電気事業者10社平均、2014年度」を使用した。
- 6)本シートの算定結果は塗装鋼板の平均値である。

⑥-1.その他の環境関連情報

⑥-2.有害物質に関する情報

項目	CAS No.	法令等
マンガン	7439-96-5	労働安全衛生法施行令

⑦使用した二次データの考え方

IDEA v2.1.3 を使用した。また、スクラップ原単位（スクラップ LCI）は原単位登録番号：JP-AJ-0001を使用した。

⑧備考

変更日：2024年10月31日 エコリーフマークからSuMPOEPDマークに変更。

- データ算定の方法は、PCRおよび算定・宣言規程を参照してください。
- 比較については、算定・宣言規程に規定された条件を満たした場合にしか認められません。
(参照先URL：<https://ecoleaf-label.jp/regulation/>)